

夫・交際相手からの暴力(DV)を受けた女性の サポートグループ実施の ファシリテーション研修

グループ支援は重要な社会資源です。

DVを受けた女性たちは孤立しがちです。グループでの支援は、同じような経験をした女性たちが語り合うことで、暴力を受けたのは自分だけではない、被害を受けた女性が悪いのではない、DVを生み出す社会的構造があることなどに、気づいていくためにとても効果的です。このようなグループ支援にはファシリテーションの技術が不可欠です。

この研修では、ワークショップを通して、グループのもつ力を体感し、ファシリテーション技術を体系的、実践的に参加型の手法で学びます。この研修では初めての参加者はもちろん、これまでの研修参加者にとっても新しい学びや気づきがあり、グループ支援の有効性を体験できます。ぜひ、共に学びましょう。

2021年

日時

オミクロン株の影響により、**12/29(水)～30(木)に変更**します。

両日共

10時～17時

* 2日間通しての参加となります。ただし、再受講の場合は、ご相談ください。

場所

国立オリンピック記念青少年総合センター

小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

社会福祉学博士 ミシガン大学社会福祉学大学院教授

講師： 吉浜 美恵子さん

- ・アクション・リサーチを通し、調査研究と市民(女性)運動の融合、政策提言や評価、援助プログラムの拡充に向けての調査研究、実践にたずさわる。
- ・日本においては、1992年、「夫(恋人)からの暴力」調査研究会を共同設立し、日本で初めてのDV全国調査を実施(調査結果は共著『新版ドメスティック・バイオレンス』有斐閣)。
- ・東日本大震災後、被災した女性たちとともにフォトボイスの手法を使ったグループワークを継続実践している。

主催：NPO法人男女平等参画推進みなと(GEM) 後援：東京都港区、NPO法人全国女性シェルターネット
協力：サポートグループ研究会

『令和3年度 東京都配偶者暴力被害者等セーフティネット強化支援交付金』にて実施します。

